

済生会横浜市南部病院における病棟薬剤師の薬物治療への介入実態調査

1. 研究の対象

2019年4月1日から2020年3月31日までに入院された患者15,752名を対象としています。

2. 研究目的・方法

当院における病棟薬剤師の薬物治療に対する介入の実施状況を調査することを目的とし、期間中に提出された病棟薬剤業務日誌と医事課算定データを後ろ向きに調査し、病棟薬剤師の有益性と今後の課題を検討します。

3. 研究に用いる情報の種類

病棟薬剤師が提出する病棟薬剤業務日誌から医師に行った処方介入件数（処方提案件数、提案が採択された件数、薬物治療効果の向上への提案件数、副作用等の未然回避・重篤化回避件数、その他提案件数）。医事課算定データからは入院患者数、薬剤管理指導料算定件数。

4. 外部への情報の提供

研究結果は学会等で発表を予定していますが、登録された患者の個人情報個人が特定できないよう匿名化し、パスワードをかけて厳重に管理されます。

5. 研究組織

研究機関名：済生会横浜市南部病院

研究責任者：薬剤部 加藤 一郎

6. お問い合わせ

本研究への照会および研究への利用を拒否する場合は下記までご連絡ください。

病院代表：045-832-1111

担当者：薬剤部 小林 奈緒